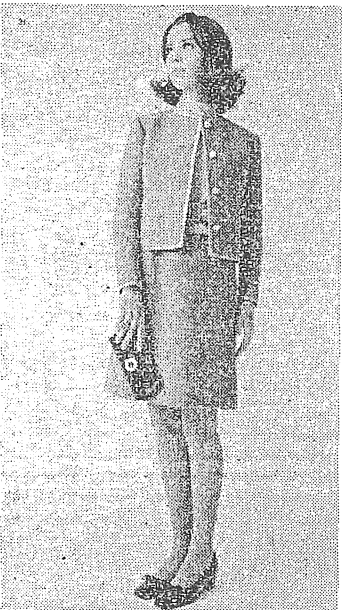


昭和44年 地区別成人者数

長 浜	喜 多 灘	櫛 生	出 海	大 和	豊 茂	白 滝	合 計
121	17	15	17	18	11	23	222



「成人式は無理のない洋服で全員出席を」

1月15日は
成人式
自覚と責任ある人間に期待

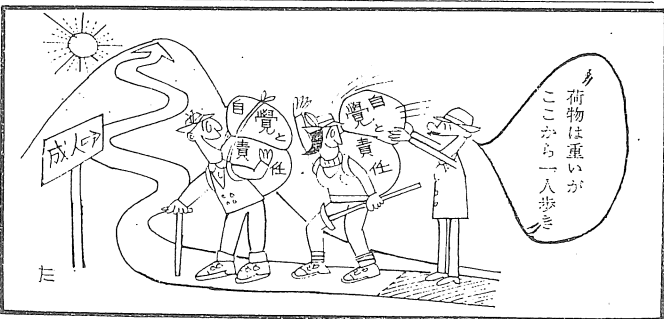
222人が仲間入り

家庭でも忘れず
祝ってあげましょう

一月十五日は成人の日です。長浜町では、今年二百二十二人の成人者を迎え、長浜町公民館(体育館)で、成人式典を行ないました。成人の日には、満二十歳を迎え、大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い、励ます記念すべき祝日です。したがって国民の祝日として、町民こそって成人に達した男女青年の、新しい門出を祝福するとともに、青年にそのよきこびを分かち、将来の幸福を祈念する厳粛で、しかも暖かみあふれる式典が行なわれる予定です。

◎該当者は、昭和23年1月16日から昭和24年1月15日までの出生者で、長浜町内の在住者(住民登録に記載のもの)を対象として行ないます。
◎式典は、午前八時三十分から午後一時までで、意見発表、講演、記念撮影など、それに、恒例の紅白歌合戦(新成人者対青年団)などが行なわれます。

「洋服で気軽に」
出席を



真の福祉向上めざして
新民生委員決まる!!

浜上氏ら11人が交替

民生委員信条
一、われらは隣人愛をもつて、その力を社会福祉の増進に捧げる
二、われらは常に地域社会の実情を審かにすることにする
三、われらは誠意をもつて、あらゆる生活上の相談に応じ、その更生を援ける
四、われらはすべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会の建設に努める
五、われらは常に公正を旨とし、人格の涵養と識見の向上に努める

去る二日、午前九時から行なわれた民生委員辞令交付式において任期満了にともなう新委員32名が就任の決定を見、福祉の向上めざし務めていただくことになりました。今度の新委員の選出にあたっては、長年の間にこれに携わってこられた浜上氏らほか10名が退任せられ一面新しい一幕もありましたが、いずれも立派な後任者に引きつがれ、再選された21名の委員らとともに民生業務に着手していただくことになりました。

新 民 生 委 員 一 覧

地区別	氏 名	担 当 地 区 名
矢野美佐子(新)	矢野美佐子(新)	1・3区
鎌田 定子(新)	鎌田 定子(新)	4・9区
井内キヨカ(新)	井内キヨカ(新)	10・15・44区
宮本幹之進(新)	宮本幹之進(新)	16・18・23・26区
池田 常子(新)	池田 常子(新)	19・22・45区
菊地 進(新)	菊地 進(新)	27・33区
松本次郎(新)	松本次郎(新)	34・39・46・47区
龜井 幸(新)	龜井 幸(新)	40・43区
井上 清(新)	井上 清(新)	48・51・57区
中島 熊男(新)	中島 熊男(新)	49・50・67区
服部みどり(新)	服部みどり(新)	58・59・62・63区
加納ミツル(新)	加納ミツル(新)	64・66区
城戸 進(新)	城戸 進(新)	65・69・76・80区
田中タツエ(新)	田中タツエ(新)	70・75区
藤井ミサヲ(新)	藤井ミサヲ(新)	81・84区
前野 信子(新)	前野 信子(新)	85・86区
佐々木沢子(新)	佐々木沢子(新)	87・89・90区
本田 信子(新)	本田 信子(新)	91・93区
久男(新)	久男(新)	88・90区
宇都宮吉幸(新)	宇都宮吉幸(新)	107・108・118・119区
松田 吉幸(新)	松田 吉幸(新)	115・117区
東 富貴子(新)	東 富貴子(新)	94・97区

犬・猫死体収容数 11月30日現在(届出)

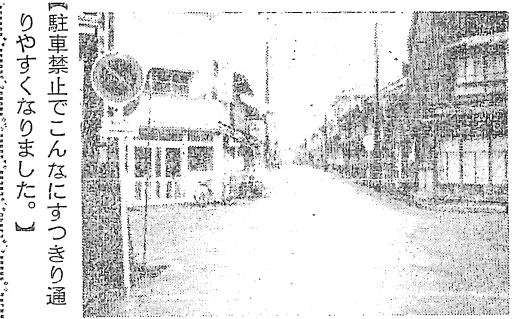
地区別	犬	猫
長 浜	58	34
沖 浦	21	4
黒 田	11	4
喜 多 灘	7	2
櫛 生	23	12
出 海	7	15
大 和	7	4
豊 茂	13	9
計	147頭	84匹

野犬毒殺
成果は上々 147頭

「ゴミ箱の被害ぐつと減る」

先月の20日、21日、29日の三日間に渡って地域別に実施された当町での野犬毒殺の結果がまとまりました。

最近、野犬による被害が多発しており、特に街内において、夜間のあいだにゴミ箱をあさった後などの被害が特にひどく、早朝などゴミ箱やバケツから汚物が散乱し、これの始末が毎朝の目録のような家庭も見られるほどの状態でした。が、町住民課保健衛生課では大洲保健所の指導とともに各地区の区長さんたちの積極的な協力によって毒殺野犬狩りの成果は上々別表のような結果が上りました。なお、方法は、特別製のテンブラに毒をはさんでこれを食べさせる方法ですが、他町村においては既に実施されたところも多く、ところによっては、余りかんばしくない結果も伺えていただけに、関係者はじめ、みなさんから、この成果が期待されていたが、当町では、心ないネコ84匹までもがまきそえを食うほどの大成果があげられました。



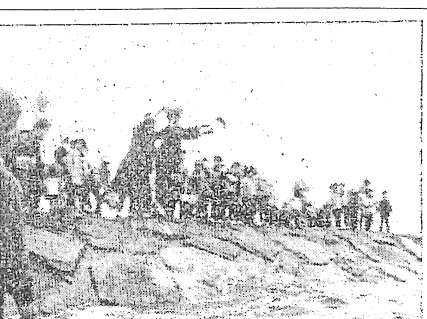
【駐車禁止でこんなにつつきり通る】
感謝の意を表するとともに感謝状を贈呈する予定です。

12月1日から
本町通り
駐車禁止

本町通りに駐車し慣れた運転手のみなさん、特にご注意ください。この一日から、長浜の本町一丁目から四丁目までの全面が、軽四輪車以上駐車禁止になりました。駐車禁止の標識も立っています。うっかりしての駐車と思わぬ罰金など取られないよう、くれぐれもご注意ください。

水族館「休館」

さかなたち
海のふるさとへ



退任者
浜上玄房(仁久)
大野一馬(長浜)
宮本正文(長浜)
伊藤仙三郎(青島)
水木己未生(沖浦)
村上徳太郎(櫛生)
永田義邦(豊茂)
久保千穂(豊茂)
福村神教(白滝)
清水勝美(柴)
吉本吉信(柴)

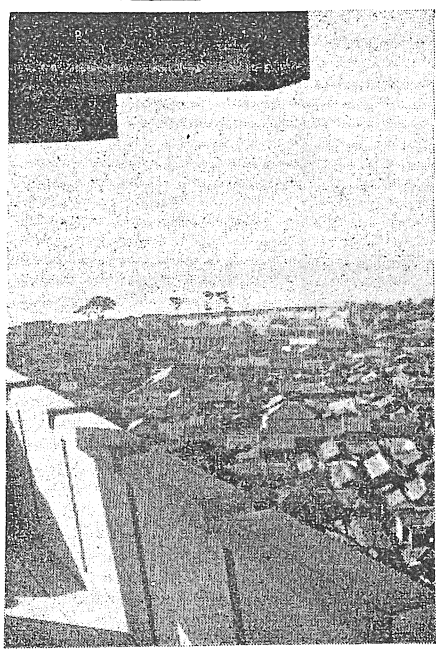
ありがとうございました!!
▼井上さん
青島の井上武治氏(三十六才)は、現金七千円を香典返しのため「町の社会福祉のため使ってほしい」と、まごころ銀行へ寄付されました。

住吉公園

展望台が完成

道路も間もなく完工

みんなの願いであった、住吉公園展望台が完成した。これは、都市計画道路整備事業である、住吉公園町道新設工事とともに公衆便所設置費を含め、二八万五千円をかけ建造されたもので、約62m下のわが町を見下ろせる高さになりました。今までの目の前を樹木にさえぎられて、せつなみの絶景地も余りみえませんでした。みんなの公園を可愛がりますように、みんなの願いであった、住吉公園展望台が完成した。これは、都市計画道路整備事業である、住吉公園町道新設工事とともに公衆便所設置費を含め、二八万五千円をかけ建造されたもので、約62m下のわが町を見下ろせる高さになりました。今までの目の前を樹木にさえぎられて、せつなみの絶景地も余りみえませんでした。



展望台からのながめは一段と美しくなりました。

んでしたが、このモダンな展望台からながめると、足もガクガクするほどに、より一段と高い感じ、しかも、まさに「絶景かな」のごとく、町内全景はもろもろ、遠く瀬戸の島々が望めます。また、これに至る道路は工事費が八十一万五千円で、現在ほぼ出来上がっており、年内のうちに間もなく完工する予定です。これができると、町内唯一の憩や散歩の公園として楽しめることになりそうです。よごさぬように、こわさぬように、みんなの公園を可愛がりますように。

役場前年度内に完工

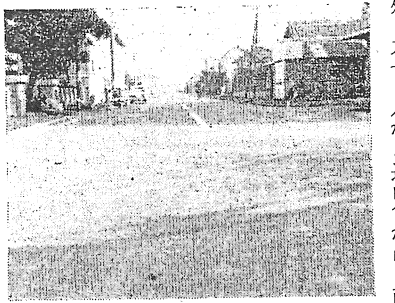
車・歩道分けのメイン・ストリート

都市計画道路整備事業として、この五月の町議会にて認定を受けた役場前道路が、たいま順調に進んでいます。この工事は、巾11mの道路を三七五・六mに渡りアスファルト舗装するもので、現在、車道の部分の二七・八mまでが完成し

保育所が火事!!

「児童も避難訓練」

長浜町消防団では、火災シミュレーションの到来に備え、各所で防火訓練及び避難訓練をおこなうとともにみなさんの家庭や職場において



ており、今年度内(三月まで)に残り九七・八mと道巾11m中、両

11月分有線放送電話番号追加訂正表

追加	氏名	番号	部落名	備考
6	重田 都太雄	620	山 際	運輸業
"	清水 佳久	349	新 町	船舶運輸業
11	松本 正義	449	本町四	旅館
12	宮岡 義隆	621	山 際	
"	明 関 倉	121	駅 前	
26	菊岡 孝夫	27	浜	
30	水田 清市	136	出海浜	
36	石丸 岩男	466	加 屋	
37	岡田 直儀	454	"	
38	久 保	35	"	
(訂正)				
16	仲田源一	16番を「326番」	部落名を「下成」に訂正	
(削除)				
28	中 田 藤 夫	27	浜 宮	
25	浦 田 清 男	136	出海浜	



うに呼びかけています。

なほ、先月の訓練では、28日、マンモス化した長浜中学校で、29日には長浜保育所園児を対象に、発煙灯をたき、本番さながらに、なかなかに上での避難訓練を行いました。指導者たちを感心させて

うに呼びかけています。なほ、先月の訓練では、28日、マンモス化した長浜中学校で、29日には長浜保育所園児を対象に、発煙灯をたき、本番さながらに、なかなかに上での避難訓練を行いました。指導者たちを感心させて

私の訴えたいこと

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

毎日、朝四時半に起床しての搾乳は、若い私にとっては大変辛いことなのです。一日の農作業で疲れ、夕方重い足で牛舎に近づくと、私の七頭の可愛い牛たちが「モー」と鳴いて迎えてくれます。私は昼間の農作業の疲れを忘れて牛舎に駆けつけます。鼻息も荒く、エサにむさぼりつく牛たちを見るうちに、昼間の農作業の疲れもどこかえふとんとしまします。

愛情をそそいで育てた子牛が、立派に成長し、私の期待に添えてくれる時、私は、素晴らしい牛を発見し、創造する喜びを感じるのです。自分の手で育て、自分の努力がそのままだに現れる農業に、私は魅せられたのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

NHK応募 青年の主張 作文コンクール

菊地君(豊茂)が県代表に

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。

私は、農家の長男として生まれ幼い時から農家の後を継ぐことを宿命のように思いついた私は、中学校を卒業すると病弱の父のことを思い、高校の通信教育を受けながら、なんのためらいもなく農業の道へ入ったのです。